



「炎夏」とでも言うべき暑さで、庭の木もいくつか枯れた。これから毎年来る夏を恐ろしく感じたが、帰路の坂道で、お盆を境に一齐に虫が啼き始めたのを見て、少し安心した。季節感を確認したくて、面白い夏の句を選んでみた。

ただ一度蝉の通りし蝉の穴 吉田 汀史
(よくもあれほど固い地面を掘って出て来たものだと思う)

日盛りに蝶のふれ合う音すなり 長谷川 權
(しづかさや岩にしみ入る蝉の声)

おもふ事だまって居るか墓(ひきがえる) 菅沼 曲翠

恋をせよせよせよ夏のせみ 小林 一茶
(短い命を燃やして恋をせよ)

向日葵の一茎一花咲きとほす 津田 清子

雷去りぬ雷のほひの戸をひらく 篠田 悌二郎
(激しかった雷の余韻がまだ残っているようだ)

くちびるに一粒そして大タ立 鷹羽 狩行
(来るソ 来るソ 来るソ)

むだ雲やむだ山作る又作る 小林 一茶
(次々とわき出る入道雲)

炎天を檜のごとくに涼気過ぐ 飯田 蛇笏

滝の上に水現れて落ちにけり 後藤 夜半
(微速度撮影のよう)

蚤の迹それもわかきはうつくしき 小林一茶
(皮フ科外来でもそう思うソ)

炎天へ打って出るべく茶漬飯 川崎 展宏
(よし! がんばろう!)

飛込の途中たましひ遅れけり 中原 道夫

手花火が昼間は見えぬもの照らす 行方 克己

夏山や一足づつに海見ゆる 小林 一茶

なんだかすっきりしたなあ。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内秀俊



【ゆいまある】

猛暑が続いていますが、ゆいまあるでは毎年恒例の夏祭りを開催しました。始まりは盆踊りで炭坑節や東京音頭を踊りました。「もう忘れちゃったわ」と言われながらも、音楽が流れると自然と手を動かされ踊られていました。夏祭りらしい紙金魚すくい、あまりにもすくい過ぎて紙金魚が無くなりそうになったり、射的では片目を閉じて狙いを定めたり、とても楽しまれていました。最後は千本引きで、おやつなどの景品が当たり、大いに盛り上がっていました。

ゆいまあるでは季節に合わせたレクリエーションを取り入れ、皆様に楽しんで頂いています。



【求人】

送迎ドライバー

・勤務時間 7:40~9:40、15:30~17:40
2つのデイサービスのご利用者様の送迎を行っていただきます。送迎地域は半田市・阿久比町。送迎車はヴォクシー、フリードなどのミニバンを使用します。

清掃スタッフ

・勤務時間 15:45~17:45
2つのデイサービスの清掃を行っていただきます。床、トイレ、テーブル、椅子など。

◆どちらも週2日~相談に応じます。

◆60代の方も活躍しています。

見学、体験なども対応していますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先: 0569-49-2752 担当: 小松



デイサービスの
送迎ドライバー
清掃スタッフを
同時募集中!

◆詳しくはホームページ
をご覧ください。



ハーブ内科 検索

スタッフブログを毎週更新中!